

メジャー5 社業績好調 -2022年第3四半期決算-

1. 2022年第3四半期は、前期に対して原油価格の下落がみられたものの、ガス部門における会計上の影響により損失を計上した bp を除き、ガス価格の高騰に支えられ高収益の決算発表となった。下流部門の利益は高水準を維持、さらに LNG・天然ガス事業が好調で全体の収益を押し上げた。ExxonMobil は前年同期比の 3 倍、四半期ベースで 197 億ドルの過去最高益となった。
2. 赤字決算の bp を除き、前期と同水準の高い FCF (フリーキャッシュフロー) を確保した。bp を含め全メジャーが株主に対する還元策として増配や自社株買いを継続する。
3. 設備投資額については、上流・LNG 事業及び再生可能エネルギー事業を中心に、全メジャーが前年を上回るペースとなった。ExxonMobil の 1 月～9 月までの 3 四半期累計設備投資額は前年同期比 4 割増の 152 億ドル、通年計画では 210～240 億ドルとなる見通し。Shell は 2022 年 9 月までに前年同期比 3 割増の 175 億ドルの設備投資を行い、2022 年通年は 230～270 億ドル規模を見込む。
4. 高油・ガス価格を背景に得られたキャッシュフローにより、全体的に設備投資の意欲を高めているが、具体的に新たな上流事業に対する投資戦略が示されたわけではなく、既存事業の拡充の範囲に留まっているとみられ、どこまで将来の生産維持・拡大につながるか不透明である。

1. ExxonMobil

2022 年第 3 四半期において、高油・ガス価を背景に 244 億ドルの事業キャッシュフローを創出し、前期の 179 億ドルを上回る 197 億ドルの過去最高益を達成した。そのうち上流部門は 124 億ドルで全体の 6 割を占め、うち米国内 4 分の 1、その他地域 4 分の 3 であった。最高益の理由について、天然ガス価格の米国を含めた世界的な高騰、また石油製品及び石油化学の販売増加、またコストコントロール力と説明した。

同社の Woods CEO は、「我々は、世界が必要としているエネルギー及び製品を生産するという役目がどれほど重要なのかをしっかりと理解している。パンデミックの中でさえも投資を継続させ、消費者が求める生産量を満たしてきた。こうした努力が最高益につながった。同時に、我々は最大規模の二酸化炭素の貯留 (CCS) 事業を進め、世界中の産業分野の顧客に対して競争力の高い排出削減サービスを提供していく」と述べ、上流分野だけでなく二酸化炭素削減に向けた CCS 事業化にも強い意欲を示した。

同社の今期フリーキャッシュフローは前期を上回り 210 億ドルに達し、配当水準(今期 0.91 ドル/株、前期 0.88 ドル/株)を 0.03 ドル/株引き上げた。同社は 40 年連続で年間配当を増額している。今期は、

配当に 37 億ドル、自社株買いに 45 億ドルを充て、株主還元額は総額 82 億ドルに上る。また自社株買いについては、2022 年はこれまでに 105 億ドルを実施し、2023 年末までに総額 300 億ドルを計画している。

設備投資額について、今期は 57 億ドル、1 月から 9 月までの 3 四半期累計では前年同期比 4 割増の 152 億ドルとなっている。2022 年通年ではガイダンスに沿って 210~240 億ドルを計画している。

今期の石油換算生産量は日量 371.6 万バレルで前期の日量 373.2 万バレルに比べて微減となったが、ガス価格の上昇、米国の Permian 盆地及び南米のガイアナからの生産量増加が増収につながった。Permian 盆地における生産量は、石油換算で日量 56 万バレルと過去最高水準に達しているほか、ガイアナの生産量も、今期において Liza Phase 1 及び 2 事業が能力以上の生産を達成したこともあり、石油換算で日量 36 万バレル近くまで増加した。ガイアナにおいては近年、急ピッチで能力拡大が進められており、当期実績として、Stabroek 鉱区において新たに Sailfin-1 と Yarrow-1 で油が発見された¹。次の Payara 拡張事業、その次の Yellowtail の拡張は各 2023 年、2025 年の生産開始を計画し、2030 年までに日量 100 万バレルの生産量を目指す。

その他新たな LNG 供給源として、同社は 10 月初め、モザンビーク Coral South Floating LNG の生産を開始した。

第 3 四半期発表では、ロシアのサハリン 1 からの撤退に関して触れており、同社は国際的な制裁により事業を継続できずに 34 億ドル規模の減損計上を行っているが、ロシア政府及び権益パートナーと協議して円滑な撤退を進めていくと説明した。その一方で、10 月初めに発令されたロシア大統領令は PS 契約が定めるところの同社サハリン 1 の権利を侵害し、また撤退プロセスを妨げたと指摘。これ以上の撤退にかかわる損失を望まないことを表明した。

低炭素事業としては、ExxonMobil は、米国の肥料メーカーの CFIndustries と中流事業者である EnLink と提携して、米国ルイジアナ州での年間 2 百万トンの二酸化炭素を回収・地下に圧入する大規模な CCS 事業を行い、その二酸化炭素の地下貯留を担うことを発表した²。同事業は、2025 年初めまでの操業開始を目指し、2050 年までのルイジアナ州目標のネットゼロを支援する。今年 8 月に米国で成立したインフレ削減法が追い風となる。

(高木)

表1:2022 年第 3 四半期決算概要(ExxonMobil)

Global Disclaimer(免責事項)

このウェブサイトに掲載されている情報はエネルギー・金属鉱物資源機構(以下「機構」)が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータ及び情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、機構が作成した図表類等を引用・転載する場合は、機構資料である旨を明示していただきますようお願い申し上げます。機構以外が作成した図表類等を引用・転載する場合は個別にお問い合わせください。※Copyright(C) Japan Organization for Metals and Energy Security All Rights Reserved.

	(決算期)	2020	2021	2020Q3	2020Q4	2021Q1	2021Q2	2021Q3	2021Q4	2022Q1	2022Q2	2022Q3
生産量												
石油	MBbl/d	2,349	2,289	2,286	2,325	2,258	2,200	2,313	2,385	2,266	2,298	2,389
天然ガス	MMcf/d	8,471	8,537	8,316	8,185	9,173	8,294	8,110	8,584	8,452	8,606	7,963
合計	MBoe/d	3,785	3,712	3,672	3,689	3,787	3,582	3,665	3,816	3,675	3,732	3,716
LNG液化量	百万トン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石油精製量	千b/d	3,773	3,945	3,759	3,755	3,751	3,858	4,051	4,118	3,983	3,988	4,165
製油所能力	千b/d	4,770	4,567	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石油販売量	千b/d	4,895	5,162	5,023	4,833	4,881	5,041	5,327	5,391	5,158	5,310	5,211
損益計算書												
売上高	百万ドル	178,574	285,640	45,425	45,738	57,552	65,943	71,892	81,305	87,734	111,265	106,512
営業利益	百万ドル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
当期純利益	百万ドル	-22,440	23,040	-680	-20,070	2,730	4,690	6,750	8,870	5,480	17,850	19,660
貸借対照表												
流動資産	百万ドル	44,893	59,154	48,693	44,893	48,195	52,842	55,555	59,154	77,255	93,163	99,289
固定資産	百万ドル	287,857	279,769	309,350	287,857	285,575	284,447	281,133	279,769	277,516	274,611	270,863
総資産	百万ドル	332,750	338,923	358,043	332,750	333,770	337,289	336,688	338,923	354,771	367,774	370,152
流動負債	百万ドル	56,363	56,643	56,468	56,363	60,150	62,238	61,856	56,643	72,059	80,110	74,057
固定負債	百万ドル	119,237	113,703	124,175	119,237	116,646	116,480	114,243	113,703	113,497	110,348	109,995
有利子負債	百万ドル	65,960	47,704	68,799	65,960	63,322	60,612	56,605	47,704	47,537	46,883	45,428
純資産	百万ドル	157,150	168,577	177,400	157,150	156,974	158,571	160,589	168,577	169,215	177,316	186,100
キャッシュフロー												
事業CF	百万ドル	14,668	48,129	4,389	4,005	9,264	9,650	12,091	17,124	14,788	19,963	24,425
設備投資	百万ドル	21,374	16,595	4,133	4,771	3,133	3,803	3,851	5,808	4,904	4,609	5,728
フリーCF	百万ドル	-4,147	32,029	868	-2,854	5,400	6,986	9,092	9,747	10,722	19,188	20,964
時価総額	百万ドル	174,504	259,054	145,155	174,504	236,358	267,053	249,018	259,054	347,952	380,070	359,543
従業員数	人	72,000	63,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-

出所：決算資料及び EvaluateEnergy に基づき JOGMEC 作成

2. Shell

2022 年第 3 四半期は、エネルギー市場におけるボラティリティの高まりの中でも、堅調な業績を記録した。前期に対して原油価格は下落したものの、ガス価格は前期を上回る水準で推移したことにより、事業キャッシュフローは 125 億ドル、純利益は 67 億ドルを達成した(第 2 四半期は、原油価格の高騰により事業キャッシュフロー 187 億ドル、純利益 180 億ドル)。今期のフリーキャッシュフローは 135 億ドルとなり、前期と同水準(0.25 ドル/株)の配当を行うとともに、2022 年第 1~3 四半期において総額 145 億ドルの自社株買いプログラムを完遂したと発表。これに加え、2022 年第 4 四半期中に追加で 40 億ドルの自社株買いを実施するほか、取締役会の承認を条件に 2022 年第 4 四半期の配当を 15%増加させることで、更なる株主還元を行う旨、発表した³。

今期の石油換算生産量は日量 276.6 万バレルとなり、前期比 4.5%程度の減少となった。主な要因としては、西シベリアで GazpromNeft とのジョイントベンチャー事業として推進していた Salym 油田開発事業からの生産分が計上されなくなったことのほか、一部事業の生産が予定外に遅延したこと等によるものである。

主要な天然ガス関連事業の進捗としては、7 月 5 日にカタールにおける North Field East 拡張事業(NFE 事業)のパートナーとして選定されたと発表した⁴。同事業は、これまでの LNG 事業で最大のものであり、計 4 トレーンで年 3,200 万トンの LNG を生産する計画である。Shell は、他 4 社とともに、NFE 事業の 25%権益を保有する JV に参画。JV への参画比率は、TotalEnergies、ExxonMobil 及び Shell

Global Disclaimer(免責事項)

このウェブサイトに掲載されている情報はエネルギー・金属鉱物資源機構(以下「機構」)が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータ及び情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、機構が作成した図表類等を引用・転載する場合は、機構資料である旨を明示していただきますようお願い申し上げます。機構以外が作成した図表類等を引用・転載する場合は個別にお問い合わせください。※Copyright(C) Japan Organization for Metals and Energy Security All Rights Reserved.

がそれぞれ 25%(NFE 事業権益の 6.25%)、Eni 及び ConocoPhillips がそれぞれ 12.5%(NFE 事業権益の 3.125%)であり、QatarEnergy が事業全体の 75%権益を保有する。また、7 月 25 日には、Shell の関連会社である BG International Limited を通じて参画する英領北海における Jackdaw ガス田の開発に係る最終投資決定(FID)を行った⁵。同事業は 2020 年代半ばに生産開始が見込まれ、ピーク時には英領北海におけるガス生産量見通しの 6%を占めると期待されている。同ガス田からの生産は海底機器により、Shell が保有する既存の Shearwater Gas Hub に繋ぎ込まれる計画である。9 月 5 日には、Shell のマレーシア現地法人 Sarawak Shell Berhad (権益比率 80%、オペレーター)と同国の PETRONAS Carigali Sdn Bhd(権益比率 20%)が参画するマレーシアサラワク州における Rosmari-Marjoram ガス事業に係る FID を行った⁶。同事業は、サラワク州ビントウル沖合約 220 キロメートルに位置するガス田群から、主に PETRONAS LNG 向けに天然ガスを供給する予定であり、2026 年に生産開始、ピーク時には日量 8 億立方フィートの生産量に達する見込みである。洋上プラットフォームの操業には、太陽光発電による再生可能エネルギーを使用するとしており、操業時の温室効果ガス排出削減に取り組んでいる。

再生可能エネルギー関連では、4 月 29 日に発表したインドにおける再生可能エネルギー事業を推進する Sprng Energy group の買収を 8 月 9 日に完了した⁷。これは、子会社の Shell Overseas Investment B.V.が Actis Solenergi Limited (Actis)と、同社が保有する Solenergi Power Private Limited の 100%株式を 15.5 億ドルで取得する契約を締結し、これを通じて Sprng Energy group を買収したものである。Sprng Energy group は、インドにおいて 2.9 ギガワット(稼働中 2.1 ギガワット、契約済 0.8 ギガワット)の太陽光及び風力発電設備を有し、今後 7.5 ギガワットの追加投資計画を有する。Sprng Energy group の買収は、インドにおける統合的なエネルギートランジションを推進するとともに、Shell が現在保有する再生可能エネルギー発電容量を 3 倍に引き上げ、2050 年までにエネルギー事業におけるネットゼロの収益化を図る同社の目標達成に寄与するものとされている⁸。また 7 月 6 日には、再生可能エネルギーを利用した欧州最大規模となる電解装置による水素製造事業への FID を決定した⁹。Shell の子会社であるオランダ法人 2 社は、ロッテルダム港内 Tweede Maasvlakte に 200 メガワット級の電解装置を建設し、日量 6 万キログラムのグリーン水素を 2025 年から製造する予定。同事業は稼働開始時点で欧州最大のグリーン水素製造事業となる見込みであり、供給される再生可能エネルギーは、Shell も一部参画する Hollandse Kust (noord)風力発電事業によるものである。

(鐘田)

表2:2022 年第 3 四半期決算概要(Shell)

Global Disclaimer(免責事項)

このウェブサイトに掲載されている情報はエネルギー・金属鉱物資源機構(以下「機構」)が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータ及び情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、機構が作成した図表類等を引用・転載する場合は、機構資料である旨を明示していただきますようお願い申し上げます。機構以外が作成した図表類等を引用・転載する場合は個別にお問い合わせください。※Copyright(C) Japan Organization for Metals and Energy Security All Rights Reserved.

	(決算期)	2020	2021	2020Q3	2020Q4	2021Q1	2021Q2	2021Q3	2021Q4	2022Q1	2022Q2	2022Q3
生産量												
石油	MBbl/d	1,804	1,738	1,697	1,752	1,809	1,775	1,713	1,663	1,564	1,507	1,449
天然ガス	MMcf/d	9,181	8,687	8,027	9,392	9,747	8,584	7,863	8,576	8,110	8,070	7,640
合計	MBoe/d	3,386	3,236	3,081	3,371	3,489	3,255	3,069	3,142	2,962	2,899	2,766
LNG液化量												
	百万トン	33.3	31.0	7.8	8.2	8.2	7.5	7.4	7.9	8.0	7.7	7.2
石油精製量	千b/d	2,063	1,639	1,972	1,940	1,751	1,833	1,629	1,348	1,397	1,342	1,629
製油所能力	千b/d	2,750	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
石油販売量	千b/d	4,710	-	4,740	4,781	4,164	4,552	4,665	4,451	3,970	4,111	4,384
損益計算書												
売上高	百万ドル	180,543	261,504	44,021	43,989	55,665	60,515	60,044	85,280	84,204	100,059	95,749
営業利益	百万ドル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
当期純利益	百万ドル	-21,680	20,101	489	-4,014	5,660	3,428	-447	11,461	7,116	18,040	6,743
貸借対照表												
流動資産	百万ドル	91,953	128,766	92,311	90,695	99,559	111,682	131,570	128,765	152,021	165,224	163,318
固定資産	百万ドル	287,315	275,614	286,939	288,572	285,841	286,175	277,199	275,614	272,966	282,674	274,040
総資産	百万ドル	379,268	404,380	379,250	379,267	385,400	397,857	408,769	404,380	424,987	447,898	437,358
流動負債	百万ドル	73,708	95,547	70,541	73,951	76,431	84,502	104,230	95,547	113,298	118,678	118,673
固定負債	百万ドル	150,250	136,867	151,541	150,007	145,255	145,356	141,149	133,506	132,156	134,922	128,448
有利子負債	百万ドル	79,595	80,126	80,126	79,595	74,192	71,736	67,422	89,086	59,232	56,709	55,430
純資産	百万ドル	155,310	171,965	157,168	155,310	163,714	167,999	163,390	171,965	175,998	190,500	186,522
キャッシュフロー												
事業CF	百万ドル	34,105	45,105	10,403	6,287	8,294	12,617	16,025	8,170	14,815	18,655	12,539
設備投資	百万ドル	17,827	19,698	3,737	5,504	3,975	4,383	4,840	6,500	5,064	7,024	5,426
フリーCF	百万ドル	12,499	37,291	5,101	657	8,367	10,187	12,640	6,096	17,364	15,854	13,540
時価総額												
	百万ドル	140,157	-	98,510	140,157	153,974	158,058	175,546	168,051	216,195	381,746	176,043
従業員数												
	人	87,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

出所：決算資料及び EvaluateEnergy に基づき JOGMEC 作成

3. bp

2022 年第 3 四半期において、bp は 83 億ドルの事業キャッシュフローを創出した。高油ガス価及び好調なトレーディングを背景に記録した前期の 109 億ドルからは減少したものの、前年同期(60 億ドル)を上回る水準を確保した。純利益については、今期は 22 億ドルの損失を計上(前期は 93 億ドルの黒字)。これは、主に天然ガスに関する在庫保有損失に起因するものであり、天然ガスの先物理論価格(forward gas prices)の更なる上昇に関する会計上の影響が含まれている。アンダーライニング・リプレースメント・コスト利益では、ガス価格の上昇により精製マージン(利ざや)の低下の影響を相殺し 82 億ドルを確保した。これは 14 年ぶりの高水準を記録した前期の 85 億ドルと同程度の水準であり、前年同期(33 億ドル)の 2 倍以上に相当する。こうした四半期決算状況を反映し、同社は前期と同水準にあたる 6.006 セント/株で配当を行うとともに、第 4 四半期決算発表前に追加で 25 億ドルの自社株買いを実施する旨発表。これにより 2022 年における同社の自社株買い総額は 85 億ドルに達し、同年の余剰キャッシュフローのうち 60%以上を自社株買いに向ける。前期決算発表に引き続き、バランスシートの健全化に努めつつ、株主への還元を行う方針を明確に打ち出している¹⁰。

今期の石油換算生産量は日量 229.8 万バレルとなり、前期比 4.5%程度の増加となった。これは、天然ガス生産量の増加(前期:日量 19.6 億立方フィート、当期:日量 20.8 億立方フィート)の影響によるものである。

最近の石油天然ガス関連事業の進捗としては、8 月 2 日に同社と Eni が共同で出資するアンゴラ

Global Disclaimer(免責事項)

このウェブサイトに掲載されている情報はエネルギー・金属鉱物資源機構(以下「機構」)が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータ及び情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、機構が作成した図表類等を引用・転載する場合は、機構資料である旨を明示していただきますようお願い申し上げます。機構以外が作成した図表類等を引用・転載する場合は個別にお問い合わせください。※Copyright(C) Japan Organization for Metals and Energy Security All Rights Reserved.

におけるジョイントベンチャー企業 **Azule Energy** の設立が正式に承認された。同 **JV** は、アンゴラにおける両社の石油・天然ガス上流、**LNG** 及び太陽光発電事業を統合する目的で **2021** 年 **5** 月に設立の意向が発表され、今般、設立に関する政府の許認可を取得した。同 **JV** はアンゴラにおける最大の独立系生産者となり、計 **16** のライセンスにおいて石油換算で **20** 億バレル以上のネット埋蔵量を有し、今後 **5** 年間の石油換算生産量は日量 **25** 万バレル程度に達する見通しである¹¹。また、**9** 月 **7** 日には、**bp** がアルジェリアで保有する生産中の天然ガス資産、**In Amenas** 及び **In Salah** コンセッションを含む同国の上流資産を **Eni** に売却すると発表。**bp** は同コンセッションにそれぞれ **33.15%** 及び **45.89%** の権益比率で参画、オペレーターは **bp**、**Equinor** 及び同国国営企業の **Sonatrach** による **JV** が務めている。パートナー各社及びアルジェリア政府に対して売却の意向は通知済みであり、今後、パートナーによる先買権行使のプロセスや政府承認の取得が売却の前提となる¹²。

このほか、**bp** は **7** 月 **28** 日に、スペイン及びポルトガルで再生可能エネルギーの発電事業や配電事業を行う **Iberdrola** 社との間で戦略的協力関係構築の意図を発表。両社は輸送部門及び産業部門における脱炭素化を推進するため、スペイン及びポルトガルにおける **11,000** か所の電気自動車急速充電設備の導入を目的に、共同で **10** 億ユーロを上限に投資を行う計画のほか、スペイン、ポルトガル及び英国に大規模なグリーン水素製造拠点を整備し、年産 **60** 万トンを目指すことを発表した¹³。また、**8** 月 **1** 日には、同社の **Castrol** 事業の本社がある英国 **Pangbourne** において、電気自動車向けバッテリー試験センター及び分析研究所を **2024** 年に開設することを目指し、**5,000** 万ポンドを投資することを発表¹⁴。今回の投資発表は、**2030** 年までに英国において北海油ガス田・洋上風力・電気自動車充電設備・水素・**CCS** などの分野に対して **180** 億ポンドを拠出するという本年 **5** 月に発表の方針¹⁵の一環である。

(鑑田)

表3:2022 年第 3 四半期決算概要(bp)

Global Disclaimer(免責事項)

このウェブサイトに掲載されている情報はエネルギー・金属鉱物資源機構(以下「機構」)が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータ及び情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、機構が作成した図表類等を引用・転載する場合は、機構資料である旨を明示していただきますようお願い申し上げます。機構以外が作成した図表類等を引用・転載する場合は個別にお問い合わせください。※Copyright(C) Japan Organization for Metals and Energy Security All Rights Reserved.

	(決算期)	2020	2021	2020Q3	2020Q4	2021Q1	2021Q2	2021Q3	2021Q4	2022Q1	2022Q2	2022Q3
生産量												
石油	MBbl/d	2,106	1,951	1,987	1,995	1,936	1,905	1,960	2,005	1,653	1,047	1,076
天然ガス	MMcf/d	7,929	7,915	7,717	7,371	7,727	7,600	7,899	8,427	7,824	6,673	7,086
合計	MBoe/d	3,473	3,317	3,318	3,266	3,268	3,215	3,322	3,458	3,002	2,198	2,298
LNG販売量	百万トン											
石油精製量	千b/d	1,627	1,594	1,587	1,628	1,601	1,507	1,622	1,644	1,650	1,480	1,512
製油所能力	千b/d	1,906	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石油販売量	千b/d	2,691	2,832	4,972	5,255	2,498	2,853	2,993	2,978	2,819	3,003	3,047
損益計算書												
売上高	百万ドル	180,366	137,361	44,251	44,789	26,191	31,818	36,724	42,628	46,920	56,070	54,731
営業利益	百万ドル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
当期純利益	百万ドル	-20,305	7,565	-450	1,358	4,667	3,116	-2,544	2,326	-20,384	9,257	-2,163
貸借対照表												
流動資産	百万ドル	72,982	92,590	70,825	72,982	78,117	86,753	90,476	92,590	120,131	126,800	108,440
固定資産	百万ドル	194,672	194,682	189,425	194,672	191,808	197,333	196,060	194,682	175,381	172,333	175,042
総資産	百万ドル	267,654	287,272	260,250	267,654	269,925	284,086	286,536	287,272	295,512	299,133	283,482
流動負債	百万ドル	59,799	80,287	58,077	59,799	60,715	70,570	78,112	80,287	-101,185	-109,507	-104,142
固定負債	百万ドル	136,605	118,481	122,203	124,529	121,106	122,770	121,044	118,481	117,865	109,986	107,872
有利子負債	百万ドル	74,597	62,923	74,716	74,597	67,997	70,072	64,976	62,923	62,343	54,601	48,402
純資産	百万ドル	83,326	88,504	79,970	83,326	88,104	90,746	87,380	88,504	76,462	79,640	71,468
キャッシュフロー												
事業CF	百万ドル	12,162	23,612	5,204	2,269	6,109	5,411	5,976	6,116	8,210	10,863	8,288
設備投資	百万ドル	14,055	12,848	3,636	3,491	3,798	2,514	2,903	3,633	2,929	2,838	3,194
フリーCF	百万ドル	5,315	17,719	2,867	666	6,428	4,036	920	6,335	8,606	15,200	1,116
時価総額	百万ドル	70,113	87,583	58,655	70,113	82,365	88,240	91,812	87,583	95,677	90,359	87,911
従業員数	人	63,600	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

出所：決算資料及び EvaluateEnergy に基づき JOGMEC 作成

4. Chevron

2022年第3四半期は、他社同様、153億ドルの事業キャッシュフローを創出し、純利益は前期の116億ドルに続き今期も112億ドルと好調を維持した。また、前年同期に比べると当期純利益は約2倍に増加した。今期のフリーキャッシュフローは109億ドルで、そのうち配当額として27億ドル、自社株買いとして37.5億ドルを行って株主還元で総額65億ドルを充て、また負債引き下げにも25億ドルを充当した。

設備投資額は、前年同期比28億ドルに対して今期は39億ドル、また9月までの2022年は米国の再生エネルギー企業(Renewable Energy Group社)を買収したことで計126億ドル、昨年同期比50%増である。

2022年第3四半期において、同社は、“高利益(Higher return)”と“低炭素(Lower Carbon)”の双方追求を目標に、その行動指針として3つ、(1)2020年代半ばにおける設備投資した分のリターンを追求、(2)各期50億ドル以上の株主還元、さらに(3)自社の従来の投資分野と新たなエネルギー分野の双方拡大を追求することを示す。また財務上の優先順位は、まず配当金の引き上げ、次に前出(3)の伝統的な分野と新エネルギーへの投資、健全なバランスシートの維持で、4つ目に自社株買いであると説明した。

石油・天然ガス生産量は、タイ及びインドネシアでの油ガス田の利権終了に伴い減少したが、米国ではPermian盆地での増産により、石油換算生産量は前年同期比12%以上の増加となる日量70万バレル

Global Disclaimer(免責事項)

このウェブサイトに掲載されている情報はエネルギー・金属鉱物資源機構(以下「機構」)が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータ及び情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、機構が作成した図表類等を引用・転載する場合は、機構資料である旨を明示していただきますようお願い申し上げます。機構以外が作成した図表類等を引用・転載する場合は個別にお問い合わせください。※Copyright(C) Japan Organization for Metals and Energy Security All Rights Reserved.

ル超の水準となったことに加え、メキシコ湾で天候不良による生産障害がなかったため、全体では同年前期の水準を維持した。

第3四半期は夏季休暇シーズンとも重なり、Chevron による目立った進捗報告はみられなかったが、2022 年下期のこれまでのプレスリリースにおいてそのほとんどがトランジションエネルギーに関する発表であった。本邦企業との提携も複数みられ、三井石油開発との日本における地熱資源の開発に関して、同社が保有する高度な技術である Advanced Closed Loop (ACL)を適用した将来におけるパイロット事業実施の可能性調査、そして世界適用に関するポテンシャル調査が発表された¹⁶。また JERA との間でもアジア太平洋及び米国における低炭素事業である CCUS 及び新技術等の商業化に関して協力関係を構築したことを発表した¹⁷。

LNG 出荷において、東南アジア 3 か国でのエネルギー効率化によって二酸化炭素排出分を完全に相殺した LNG カーゴ (Offset-Paired LNG) が西豪州の Gorgon 事業から初出荷された。

(高木)

表4:2022 年第3 四半期決算概要(Chevron)

	(決算期)	2020	2021	2020Q3	2020Q4	2021Q1	2021Q2	2021Q3	2021Q4	2022Q1	2022Q2	2022Q3
生産量												
石油	MBbl/d	1,868	1,814	1,707	1,978	1,826	1,847	1,757	1,828	1,736	1,687	1,707
天然ガス	MMcf/d	7,290	7,709	6,764	7,796	7,770	7,671	7,660	7,736	7,947	7,253	7,920
合計	MBoe/d	3,083	3,099	2,834	3,277	3,121	3,126	3,034	3,117	3,060	2,896	3,027
LNG液化量	百万トン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石油精製量	千b/d	1,377	1,479	1,390	1,347	1,417	1,536	1,479	1,484	1,534	1,515	1,430
製油所能力	千b/d	1,804	1,804	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石油販売量	千b/d	2,224	2,454	2,286	2,247	2,317	2,441	2,574	2,483	2,544	2,547	2,685
損益計算書												
売上高	百万ドル	94,471	155,606	23,997	24,843	31,076	36,117	42,552	45,861	52,314	65,372	63,508
営業利益	百万ドル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
当期純利益	百万ドル	-5,543	15,625	-207	-665	1,377	3,082	6,111	5,055	6,259	11,622	11,231
貸借対照表												
流動資産	百万ドル	26,078	33,738	24,803	26,078	30,433	32,973	32,137	33,738	44,709	51,188	51,503
固定資産	百万ドル	213,712	205,797	198,260	213,712	211,212	209,833	207,811	205,797	204,339	206,748	208,232
総資産	百万ドル	239,790	239,535	223,063	239,790	241,645	242,806	239,948	239,535	249,048	257,936	259,735
流動負債	百万ドル	22,183	26,791	19,664	22,183	27,480	28,147	25,188	26,791	-31,203	39,121	36,883
固定負債	百万ドル	85,919	73,677	71,625	85,919	82,277	81,477	78,898	73,677	71,626	65,261	64,172
有利子負債	百万ドル	45,159	34,872	34,810	45,159	45,440	43,018	37,347	34,872	37,347	26,235	23,641
純資産	百万ドル	131,688	139,067	131,774	131,688	131,888	133,182	135,862	139,067	146,219	153,554	158,680
キャッシュフロー												
事業CF	百万ドル	10,577	29,187	3,537	2,237	4,196	6,954	8,579	9,458	8,055	13,800	15,267
設備投資	百万ドル	13,126	11,720	2,592	2,804	2,504	2,786	2,770	3,660	2,757	6,785	3,939
フリーCF	百万ドル	5,232	25,563	1,947	2,146	3,755	5,646	8,341	7,821	7,564	7,800	10,917
時価総額	百万ドル	162,582	226,463	134,447	162,582	202,041	202,558	195,564	226,463	319,931	283,397	277,806
従業員数	人	47,736	42,595	-	-	-	-	-	-	-	-	-

出所：決算資料及び EvaluateEnergy に基づき JOGMEC 作成

5. TotalEnergies

TotalEnergies の 2022 年第3 四半期決算は、ロシアによるウクライナ侵攻を受けたガス価格の高まりにより、統合ガス・再生可能エネルギー・電力部門 (iGRP 部門) が好調だったことを受け、178 億ドルの事業キャッシュフローを創出。ロシア事業関連で 31 億ドルの評価損を計上したものの、66 億ドルの純利

Global Disclaimer(免責事項)

このウェブサイトに掲載されている情報はエネルギー・金属鉱物資源機構(以下「機構」)が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータ及び情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、機構が作成した図表類等を引用・転載する場合は、機構資料である旨を明示していただきますようお願い申し上げます。機構以外が作成した図表類等を引用・転載する場合は個別にお問い合わせください。※Copyright(C) Japan Organization for Metals and Energy Security All Rights Reserved.

益を達成した。iGRP 部門単体での営業純利益は、平均 LNG 販売価格が前期比 50%以上増加したことや、好調なトレーディングを背景に前期より 11 億ドル増加し、今期は過去最高の 36 億ドルに達した。TotalEnergies 全体での今期のフリーキャッシュフローは 64 億ドルとなり、同社は前期と同水準(0.69 ユーロ/株、前年同期より 5%増)で配当を行うとともに、2022 年 12 月には中間特別配当として 1 ユーロ/株を行い、株主への還元を進めている¹⁸。

今期の石油換算生産量は日量 266.9 万バレルとなり、前期比 2.5%減、前年同期比で 5%の減少となった。主な要因として、豪州イクシス LNG 事業における定期点検、カザフスタン カシャガン油田におけるガス漏洩への対処を理由とした計画外点検による生産減少が挙げられる。減少した生産量の一部は、ナイジェリアにおける Ikike 油田、ブラジルにおける Sepia 油田及び Atapu 油田からの生産開始や、Mero 1 事業からの生産増加により相殺された。

今期における石油・天然ガス上流事業の進捗としては、新規生産開始(ナイジェリア Ikike 油田)、開発に係る最終投資決定(アンゴラにおける石油・ガス・太陽光発電の 3 事業、アルゼンチンにおける Fenic ガス田)、探鉱井掘削による新規構造発見(キプロス洋上 Block6)、生産物分与契約の延長又は新規締結(アルジェリア陸上 Block 404a 及び 208、オマーン陸上 Block11)、資産売却(ロシア Termokarstovoye ガス田、イラク Sarsang 油田)など、多くの動きがみられた。特に開発に係る最終投資決定は既存施設を活用し、開発費を抑制する形で事業化を追求しているほか、探鉱活動においても既存事業の知見やアナロジーが適用できる鉱区や地域を対象とするなどの特徴がある。

- 7 月 19 日:アルジェリア東部の Berkine 盆地陸上 Block 404a 及び 208 を対象とした 25 年間の延長生産物分与契約(PSA)を、TotalEnergies、Sonatrach、Occidental、Eni とともに締結。当該契約は、2019 年に公布された新炭化水素法に基づき発行され、同法の求めにより、追加的な液体炭化水素の開発には炭素強度削減が求められることとなっている。これについて TotalEnergies の探鉱・生産部門中東北アフリカ担当 SVP の Laurent Vivier 氏は、新法の求めはカーボンフットプリントを最小化しつつ、低コスト原油を開発するという我々の企業戦略と合致していると述べている¹⁹。
- 7 月 20 日:パプアニューギニアにおいて TotalEnergies がオペレーターを務める Papua LNG JV は、同 LNG 事業に係る上流生産施設の FEED を開始したと発表。これと並行して、液化施設のスタディも開始されており、2022 年第 4 四半期に事業全体の FEED を開始することを目標としている。最終投資決定は 2023 年末頃、生産開始は 2027 年末を目指している²⁰。
- 7 月 25 日:ナイジェリア OML99 鉱区(TotalEnergies 40%オペレーター、ナイジェリア国営石油会社 NNPC 60%)に位置する Ikike 油田からの生産開始を発表。同油田は沿岸から 12 キロメートル、水深約 20 メートルに位置し、既存の Amenam 洋上施設にパイプラインで繋ぎ込み、ピーク時の生産量は日量 50,000 バレルを見込んでいる²¹。

Global Disclaimer(免責事項)

このウェブサイトに掲載されている情報はエネルギー・金属鉱物資源機構(以下「機構」)が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータ及び情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、機構が作成した図表類等を引用・転載する場合は、機構資料である旨を明示していただきますようお願い申し上げます。機構以外が作成した図表類等を引用・転載する場合は個別にお問い合わせください。※Copyright(C) Japan Organization for Metals and Energy Security All Rights Reserved.

- 7月28日:TotalEnergies は、アンゴラにおける石油・ガス・太陽光発電の3事業を発表し、複合エネルギー戦略を打ち出した。アンゴラ沖合150キロメートルに位置するBlock 17/06における初となるBegonia油田開発事業の最終投資決定を行った。同油田から5坑の生産井をBlock17で操業中のPazflor FPSOに繋ぎ込み、2024年末までには日量30,000バレルの生産を予定している。また、アンゴラ初となるQuilumaガス田及びMaboqueiroガス田から生産される非随伴ガスを用いたNon Associated Gas 1 (NAG1)事業の最終投資決定を実施。TotalEnergiesはNAG1の11.8%権益を保有し、オペレーターを務めるEni (25.6%)、Chevron (31%)、同国国営石油会社のSonangol(19.8%)及びbp (11.8%)とともに事業を推進し、2026年中ごろの生産開始を予定している。これに加え、アンゴラにおいてTotalEnergiesが初めて参画する太陽光発電事業となるQuilemba事業の最終投資を決定。2023年末までの操業開始を目指し、TotalEnergiesが51%、Sonangol EPが30%、Angola Environment Technology (Greentech)が19%の事業権益を保有し、アンゴラエネルギー・水資源省とともに事業を進めている²²。
- 8月22日:TotalEnergies (50%)及びEni (50%オペレーター)が参画するキプロス洋上Block6で掘削した探鉱井Cronos-1において、複数の良好な炭酸塩岩の貯留層を発見し、ネット層厚は260メートルを超えると発表した。今次発見は、同鉱区において2018年に掘削した探鉱井Calypso-1に次ぐものであり、追加埋蔵量の獲得を目指し予定されている他の探鉱井の掘削結果を受けて、最適な開発計画を検討する予定としている²³。
- 8月26日:ロシアTermokarstovoyeガス田を操業するTerneftegazの49%権益をNovatekに売却する契約を締結。ロシアによるウクライナ侵攻を受け、TotalEnergiesは3月22日にロシア関連事業に関する指針を発表。欧州による対露制裁を厳格に順守するとともに、欧州のエネルギーセキュリティに貢献しない事業を段階的に停止するとしている。これを受け、ロシア国内向けに原油を供給するKharyaga油田の20%権益を7月6日にZarubezhneftに対して売却し、同権益移転は8月3日に完了した。国内向けに天然ガスを供給するTermokarstovoyeガス田についても、7月18日にTerneftegazの49%権益を既往投資額の回収を可能とする経済条件のもとNovatekに売却することに合意し、ロシア政府当局の権益売却に係る手続きを実施していた²⁴。
- 9月15日:イラクのクルディスタン地域のSarsang油田における18%権益について、Shamran Petroleum Corp. (カナダ及びスウェーデンに上場、クルディスタン地域における探鉱・開発に特化)に155百万ドルで売却した。今後の生産量及び原油価格によっては、追加で15百万ドルの対価が支払われる条件となっている。同油田は2011年に発見され、TotalEnergiesの持ち分生産量は2021年において約日量3,500バレルであった²⁵。
- 9月16日:オマーン陸上Block11における探鉱・生産物分与協定(EPSA)を、Shell (67.5% オペ

Global Disclaimer (免責事項)

このウェブサイトに掲載されている情報はエネルギー・金属鉱物資源機構(以下「機構」)が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータ及び情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、機構が作成した図表類等を引用・転載する場合は、機構資料である旨を明示していただきますようお願い申し上げます。機構以外が作成した図表類等を引用・転載する場合は個別にお問い合わせください。※Copyright (C) Japan Organization for Metals and Energy Security All Rights Reserved.

レーター)、TotalEnergies (22.5%)、オマーン国営石油会社 OQ (10%)とともに同国のエネルギー・鉱物資源省と締結した。第一弾の探鉱活動として、2022 年終わりから地震探査データの収録を行い、探鉱井の掘削は 2023 年を予定している²⁶。

- 9月19日:アルゼンチン南部 Tierra del Fuego の沖合約 60 キロメートルに位置する Fenic ガス田開発について、TotalEnergies は最終投資決定を行った。TotalEnergies は関連会社を通じ、同事業のオペレーターとして権益の 37.5%を保有し、WintershallDea (37.5%)及び Pan American Sur (25%)とともに事業を推進。同ガス田は、水深 70 メートルに位置する無人のプラットフォームから掘削される 3 坑の水平坑井により開発される予定であり、生産されたガスは 35 キロメートルのパイプラインにて TotalEnergies が操業する Véga Pleyade プラットフォームに繋ぎ込み、さらに同社が操業する陸上の Rio Cullen and Cañadon Alfa プラントにおいて処理される予定。開発費総額は 706 百万ドルを見込み、生産開始は 2025 年初。ピーク時生産量は日量 1,000 万立方メートル(石油換算で日量 7 万バレル)を見込む²⁷。
- 9月24日:カタールにおける North Field South LNG 事業について、TotalEnergies は初の国際パートナー企業として QatarEnergy に選出され、年間液化容量 1,600 万トンを用意する同事業の 9.375%権益(年 150 万トン)を取得することで合意した。年間液化容量 3,200 万トンの NFE 事業参加権益 6.25%相当(年 200 万トン)と合わせ、2028 年までに TotalEnergies は世界の LNG ポートフォリオに年 350 万トンを追加的に供給する見込み。なお、両事業の完遂により、カタールの LNG 年間液化容量は 4,800 万トン追加され、2028 年までに年 1 億 2,600 万トンの輸出が可能となる予定である²⁸。

また、CCS 関連事業の進捗は以下のとおりであり、事業化に向けた取組を一段と加速している。

- 8月24日:TotalEnergies が豪州で参画する Bonaparte CCS Assessment JV (INPEX 53%オペレーター、TotalEnergies 26%、Woodside (21%))は、温室効果ガス貯蔵評価許可(Greenhouse Gas Storage Assessment Permit)を取得し、豪州北西部沿岸 G-7-AP 鉱区において、二酸化炭素貯留に係る地質評価作業を 2023 年から開始する予定。同事業は、INPEX が 66.245%権益を保有しオペレーターとして推進し、TotalEnergies も 26%権益を保有し当初から参画中の Ichthys LNG 事業から排出される温室効果ガスを相殺することを目指しており、TotalEnergies の CCS 事業開発を推進するという事業方針と完全に一致していると発表している²⁹。
- 8月29日:ノルウェーの Northern Lights Project において、世界初となる越境二酸化炭素輸送・貯蔵(CCS)事業に係る商業協定に署名。2025 年はじめより、オランダのアンモニア及び肥料製造事業である Yara Sluiskil において、年間 80 万トンの二酸化炭素を回収・圧縮・液化し、ノルウェーの Northern Lights サイトにおいて海面下約 2,600 メートルの地層に永久的に貯蔵する³⁰。

Global Disclaimer(免責事項)

このウェブサイトに掲載されている情報はエネルギー・金属鉱物資源機構(以下「機構」)が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータ及び情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、機構が作成した図表類等を引用・転載する場合は、機構資料である旨を明示していただきますようお願い申し上げます。機構以外が作成した図表類等を引用・転載する場合は個別にお問い合わせください。※Copyright (C) Japan Organization for Metals and Energy Security All Rights Reserved.

このほか、8月23日に英国スコットランド初となる Seagreen 大規模洋上風力発電事業について、初期のタービン群 114 基が稼働を開始。海底着床式で世界最深となる水深 59 メートルにタービンを設置した。事業費総額 43 億ドルを投じ、2023 年前半までに 1,075 メガワットの発電容量を達成する見込みである³¹。

(鏝田)

表5:2022年第3四半期決算概要(TotalEnergies)

	(決算期)	2020	2021	2020Q3	2020Q4	2021Q1	2021Q2	2021Q3	2021Q4	2022Q1	2022Q2	2022Q3
生産量												
石油	Mbbl/d	1,543	1,500	1,437	1,483	1,508	1,464	1,517	1,509	1,527	1,483	1,494
天然ガス	MMcf/d	7,246	7,203	6,973	7,406	7,400	7,017	7,070	7,328	7,162	6,835	6,367
合計	MBoe/d	2,871	2,819	2,715	2,841	2,863	2,747	2,814	2,852	2,843	2,738	2,669
LNG販売量												
LNG販売量	百万トン	17.6	17.5	4.3	4.3	4.4	4.2	4.3	4.6	4.4	4.1	4.0
石油精製量	千b/d	1,292	1,181	1,212	1,262	1,147	1,070	1,225	1,279	1,317	1,575	1,599
製油能力	千b/d	1,967	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石油販売量	千b/d	3,410	3,581	3,149	3,619	3,422	3,475	3,568	3,791	3,701	4,176	3,982
損益計算書												
売上高	百万ドル	140,685	205,863	33,142	37,943	43,737	47,049	54,729	60,348	68,606	74,774	69,037
営業利益	百万ドル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
当期純利益	百万ドル	-7,242	16,032	202	891	3,344	2,206	4,645	5,837	4,944	5,692	6,626
貸借対照表												
流動資産	百万ドル	79,679	111,136	77,597	79,679	83,314	87,442	112,947	111,136	146,979	155,915	174,042
固定資産	百万ドル	186,453	182,322	179,385	186,453	185,844	185,265	182,733	182,322	177,600	177,491	175,673
総資産	百万ドル	266,132	293,458	256,982	266,132	269,158	272,707	295,680	293,458	324,579	333,406	349,715
流動負債	百万ドル	64,676	95,102	57,657	64,676	70,008	75,183	96,909	95,102	122,638	128,658	147,228
固定負債	百万ドル	97,754	86,620	97,091	97,754	89,855	89,428	88,755	86,620	85,461	88,060	84,666
有利子負債	百万ドル	69,566	64,547	76,457	77,302	73,012	69,314	67,281	64,547	64,798	62,871	61,822
純資産	百万ドル	103,702	111,736	102,234	103,702	109,295	108,096	110,016	111,736	116,480	116,688	117,821
キャッシュフロー												
事業CF	百万ドル	14,803	30,410	4,351	5,674	5,598	7,551	5,640	11,621	7,617	16,284	17,848
設備投資	百万ドル	15,534	16,589	2,687	5,188	4,836	3,532	3,027	5,194	3,787	5,646	5,797
フリーCF	百万ドル	4,800	17,245	1,527	984	3,617	4,081	4,989	4,558	6,421	6,809	6,439
時価総額	百万ドル	113,988	-	89,859	113,988	122,784	119,937	127,068	131,754	132,798	135,468	118,628
従業員数	人	105,476	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

出所：決算資料及び EvaluateEnergy に基づき JOGMEC 作成

6. まとめ

2022年第3四半期は、前期に対して原油価格の下落がみられたものの、ガス部門における会計上の影響により損失を計上したbpを除き、ガス価格の高騰に支えられ高収益の決算発表となった。今期における原油価格(Brent)は、平均で101ドル/バレルと、前期の114ドル/バレルから低下した。これは世界経済成長見通しの不確実性と、特に中国における新型コロナウイルス感染症関連の都市封鎖(ロックダウン)による同国の経済減速、石油需要見通しの下振れ懸念等によるものである。他方、石油製品については、特に欧州市場でロシア産の留出油供給が減少し、欧州の在庫ハブであるARA(Amsterdam-Rotterdam-Antwerp)の在庫水準の低下等から、価格は上昇傾向にあった。天然ガス価格については、特に欧州市場向けのロシア産パイプラインガスの供給が減少したことにより、今期のTTF平均価格は前期のそれと比べて92%の上昇を示し、価格の高騰に見舞われた。また、米国Freeport LNGにおける供給障害の影響もあり、LNG市場の需給が一層ひっ迫したことも、世界的に天然ガス価格を高騰させる要

Global Disclaimer(免責事項)

このウェブサイトに掲載されている情報はエネルギー・金属鉱物資源機構(以下「機構」)が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータ及び情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、機構が作成した図表等を引用・転載する場合は、機構資料である旨を明示していただきますようお願い申し上げます。機構以外が作成した図表等を引用・転載する場合は個別にお問い合わせください。※Copyright(C) Japan Organization for Metals and Energy Security All Rights Reserved.

因となった。

こうした状況を受け、下流部門の利益は高水準を維持、さらにLNG・天然ガス事業が価格の高騰を背景に全体の収益を押し上げた。ExxonMobilは前年同期比の3倍、四半期ベースで197億ドルの過去最高益となった。ガス部門における会計上の影響により損失を計上し赤字決算となったbpを除き、前期と同水準の高いFCF(フリーキャッシュフロー)を確保した。また、bpを含め全メジャーが株主に対する還元策として増配や自社株買いを継続した。

設備投資額については、上流・LNG事業及び再生可能エネルギー事業を中心に、全メジャーが前年を上回るペースとなった。ExxonMobilの設備投資額は今期においては57億ドル、1月から9月までの3四半期累計では前年同期比4割増の152億ドルに達した。2022年通年ではガイダンスに沿って210~240億ドルを計画している。Shellは2022年9月までに前年同期比3割増の175億ドルの設備投資を行い、2022年通年は230~270億ドル規模を見込む。高油・ガス価格を背景に得られた潤沢なキャッシュフローにより、全体的に設備投資の意欲を高めているとみられるが、具体的に新たな上流事業に対する投資戦略が示されたわけではなく、既存事業の拡充の範囲に留まっているとみられ、どこまで将来の生産維持・拡大につながるか不透明である。

2023年にわたり世界経済成長見通しの不確実性はあるものの、2022年第4四半期以降も原油価格はOPECプラス産油国による日量200万バレルの大規模減産決定のほか、12月5日から導入されるロシア産原油の禁輸の影響に下支えされ、現在の価格水準あるいはそれを上回る水準で推移する可能性があるとみられる。また、石油製品価格についても、ロシア産石油製品の禁輸が2023年2月より導入されることを受け、特に欧州市場における留出油に対する需要が引き続き堅調に推移するとみられることから、精製マージンを維持し中下流部門の収益に貢献するとみられる。さらにガス価格についても、欧州においてロシア産パイプラインガスを代替する需要は引き続き堅調であり、輸入LNGに対する需要を高めることで、世界的に価格水準が維持されるとみられることから、各社の次期四半期決算及び2022年通年の決算は堅調に推移する蓋然性が高いと考えられる。

(鏑田)

表6：各社生産量・純利益・設備投資額の比較(2022年第3四半期決算)

Global Disclaimer(免責事項)

このウェブサイトに掲載されている情報はエネルギー・金属鉱物資源機構(以下「機構」)が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータ及び情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、機構が作成した図表類等を引用・転載する場合は、機構資料である旨を明示していただきますようお願い申し上げます。機構以外が作成した図表類等を引用・転載する場合は個別にお問い合わせください。※Copyright(C) Japan Organization for Metals and Energy Security All Rights Reserved.

		石油・ガス生産量 (万boe/d)	純利益 (億ドル)	設備投資額 (億ドル)
ExxonMobil(米)	前年同期	366.5	67.5	38.5
	前期	373.2	178.5	46.1
	2022Q3	371.6	196.6	57.3
Shell (英)	前年同期	306.9	-4.5	48.4
	前期	289.9	180.4	70.2
	2022Q3	276.6	67.4	54.3
bp (英)	前年同期	332.2	-25.4	29.0
	前期	219.8	92.6	28.4
	2022Q3	229.8	-21.6	31.9
Chevron (米)	前年同期	303.4	61.1	27.7
	前期	289.6	116.2	67.9
	2022Q3	302.7	112.3	39.4
TotalEnergies (仏)	前年同期	281.4	46.5	30.3
	前期	273.8	56.9	56.5
	2022Q3	266.9	66.3	58.0

出所：決算資料及び EvaluateEnergy に基づき JOGMEC 作成

(この報告は 2022 年 11 月 14 日時点のものです)

¹ ExxonMobil, ExxonMobil announces two new Guyana discoveries, https://corporate.exxonmobil.com/news/newsroom/news-releases/2022/1026_exxonmobil-announces-two-new-guyana-discoveries 2022 年 11 月 9 日閲覧

² ExxonMobil, Landmark emissions-reduction project in Louisiana announced; CF Industries, ExxonMobil, EnLink Midstream to collaborate, https://corporate.exxonmobil.com/news/newsroom/news-releases/2022/1012_landmark-emissions-reduction-project-in-louisiana-announced 2022 年 11 月 9 日閲覧

³ Shell, THIRD QUARTER 2022 RESULTS – OCTOBER 27, 2022 https://www.shell.com/investors/results-and-reporting/quarterly-results/2022/q3-2022/jcr_content/par/toptasks_1119141760_237662996.stream/1666826532698/313969f4bf5066226b15bfce3c5ac18929da62d4/q3-2022-slides.pdf 2022 年 11 月 9 日閲覧

⁴ Shell, Shell to participate in Qatar's LNG expansion, <https://www.shell.com/media/news-and-media-releases/2022/shell-to-participate-in-qatars-lng-expansion.html> 2022 年 11 月 9 日閲覧

⁵ Shell, Shell invests in the Jackdaw gas field in the UK North Sea, <https://www.shell.com/media/news-and-media-releases/2022/shell-invests-in-the-jackdaw-gas-field-in-the-uk-north-sea.html> 2022 年 11 月 9 日閲覧

⁶ Shell, Shell invests in Rosmari-Marjoram in Sarawak, Malaysia, <https://www.shell.com/media/news-and-media-releases/2022/shell-invests-in-rosmari-marjoram-in-sarawak-malaysia.html> 2022 年 11 月 9 日閲覧

⁷ Shell, Shell completes acquisition of renewables platform Sprng Energy group, <https://www.shell.com/media/news-and-media-releases/2022/shell-completes-acquisition-of-renewables->

[platform-spmg-energy-group.html](#) 2022年11月9日閲覧

⁸ Shell, Shell to acquire Sprng Energy group, one of India's leading renewable power platforms, <https://www.shell.com/media/news-and-media-releases/2022/shell-to-acquire-sprng-energy-group-one-of-indias-leading-renewable-power-platforms.html> 2022年11月9日閲覧

⁹ Shell, Shell to start building Europe's largest renewable hydrogen plant, <https://www.shell.com/media/news-and-media-releases/2022/shell-to-start-building-europes-largest-renewable-hydrogen-plant.html> 2022年11月9日閲覧

¹⁰ bp, Third quarter 2022 results, <https://www.bp.com/en/global/corporate/news-and-insights/press-releases/third-quarter-2022-results.html> 2022年11月9日閲覧

¹¹ bp, Azule Energy, Angola's new largest independent oil and gas producer, begins operations, <https://www.bp.com/en/global/corporate/news-and-insights/press-releases/azule-energy-angola-new-largest-independent-oil-and-gas-producer-begins-operations.html> 2022年11月9日閲覧

¹² bp, bp to sell its business in Algeria to Eni, <https://www.bp.com/en/global/corporate/news-and-insights/press-releases/bp-to-sell-its-business-in-algeria-to-eni.html> 2022年11月9日閲覧

¹³ bp, Iberdrola and bp to collaborate to accelerate EV charging infrastructure and green hydrogen production, <https://www.bp.com/en/global/corporate/news-and-insights/press-releases/iberdrola-and-bp-to-collaborate-to-accelerate-ev-charging-infrastructure-and-green-hydrogen-production.html> 2022年11月9日閲覧

¹⁴ bp, bp to invest up to £50 million in new global battery research and development centre in Britain, <https://www.bp.com/en/global/corporate/news-and-insights/press-releases/bp-to-invest-up-to-50-million-pounds-in-new-global-battery-research-and-development-centre-in-britain.html> 2022年11月9日閲覧

¹⁵ bp, bp to invest up to £18 billion in UK energy system by 2030, https://www.bp.com/en_gb/united-kingdom/home/news/press-releases/bp-to-invest-up-to-p18-billion-in-uk-energy-system-by-2030.html 2022年11月9日閲覧

¹⁶ Chevron, chevron and MOECO to collaborate on advanced geothermal technology, <https://www.chevron.com/newsroom/2022/q3/chevron-and-moeco-to-collaborate-on-advanced-geothermal-technology> 2022年11月9日閲覧

¹⁷ Chevron, chevron and JERA advance lower carbon solutions in asia pacific and the U.S. <https://www.chevron.com/newsroom/2022/q4/chevron-and-jera-advance-lower-carbon-solutions-in-asia-pacific-and-the-us> 2022年11月9日閲覧

¹⁸ TotalEnergies, Third quarter 2022 results, https://totalenergies.com/system/files/documents/2022-10/3Q22_Results.pdf 2022年11月9日閲覧

¹⁹ TotalEnergies, Algeria: TotalEnergies Signed a New Production Sharing Contract with Sonatrach in the Berkine Basin, <https://totalenergies.com/media/news/press-releases/algeria-totalenergies-signed-new-production-sharing-contract-sonatrach> 2022年11月9日閲覧

²⁰ TotalEnergies, Papua New Guinea: TotalEnergies Announces New Milestone towards Papua LNG

Global Disclaimer(免責事項)

Development,

<https://totalenergies.com/media/news/press-releases/papua-new-guinea-totalenergies-announces-new-milestone-towards-papua-Ing> 2022年11月9日閲覧

²¹ TotalEnergies, Nigeria: Start of Production from the Ikike Field,
<https://totalenergies.com/media/news/press-releases/nigeria-start-production-ikike-field> 2022年11月9日閲覧

²² TotalEnergies, Angola: TotalEnergies is Rolling out its Multi-Energy Strategy by Launching Three Projects in Oil, Gas and Solar Energy,
<https://totalenergies.com/media/news/press-releases/angola-totalenergies-rolling-out-its-multi-energy-strategy-launching> 2022年11月9日閲覧

²³ TotalEnergies, Cyprus: TotalEnergies announces significant offshore gas discovery in Block 6,
<https://totalenergies.com/media/news/press-releases/cyprus-totalenergies-announces-significant-offshore-gas-discovery-block-6> 2022年11月9日閲覧

²⁴ TotalEnergies, Russia: TotalEnergies continues to implement its principles of conduct and sells its 49% interest in the Russian Termokarstovoye gas field to Novatek,
<https://totalenergies.com/media/news/press-releases/russia-totalenergies-continues-implement-its-principles-conduct-and-sells> 2022年11月9日閲覧

²⁵ TotalEnergies, Iraq: TotalEnergies sells its non-operated interest in the Sarsang oil field,
<https://totalenergies.com/media/news/press-releases/iraq-totalenergies-sells-its-non-operated-interest-sarsang-oil-field> 2022年11月9日閲覧

²⁶ TotalEnergies, Oman: TotalEnergies signs Exploration and Production Sharing Agreement for onshore Block 11,
<https://totalenergies.com/media/news/press-releases/oman-totalenergies-signs-exploration-and-production-sharing-agreement> 2022年11月9日閲覧

²⁷ TotalEnergies, Argentina: Launch of the Fenix Offshore Gas Project,
<https://totalenergies.com/media/news/press-releases/argentina-launch-fenix-offshore-gas-project> 2022年11月9日閲覧

²⁸ TotalEnergies, Qatar: TotalEnergies Selected as QatarEnergy's First Partner in the North Field South LNG project,
<https://totalenergies.com/media/news/press-releases/qatar-totalenergies-selected-qatarenergys-first-partner-north-field-south> 2022年11月9日閲覧

²⁹ TotalEnergies, Australia: TotalEnergies, INPEX and Woodside Join Forces to Develop a Major Offshore CO2 Sequestration Project,
<https://totalenergies.com/media/news/press-releases/totalenergies-inpex-and-woodside-join-forces-develop-major-offshore-CO2-sequestration-project> 2022年11月9日閲覧

³⁰ TotalEnergies, Norway: Northern Lights Project Signs World's First Commercial Agreement on Cross-Border CO2 Transport and Storage,
<https://totalenergies.com/media/news/press-releases/norway-northern-lights-project-signs-worlds-first-commercial-agreement> 2022年11月9日閲覧

³¹ TotalEnergies, First power at Scotland's largest offshore wind farm,
<https://totalenergies.com/media/news/press-releases/first-power-scotlands-largest-offshore-wind-farm> 2022年11月9日閲覧

Global Disclaimer (免責事項)

このウェブサイトに掲載されている情報はエネルギー・金属鉱物資源機構（以下「機構」）が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータ及び情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、機構が作成した図表類等を引用・転載する場合は、機構資料である旨を明示していただきますようお願い申し上げます。機構以外が作成した図表類等を引用・転載する場合は個別にお問い合わせください。※Copyright (C) Japan Organization for Metals and Energy Security All Rights Reserved.